

内藤 礼一 明るい地上には あなたの姿が見える



ひと 2012年 ギャラリー小柳、東京 撮影：木奥恵三

【展覧会概要】

展覧会名：内藤 礼一 明るい地上には あなたの姿が見える

欧文表記：Rei Naito: on this bright Earth I see you

会 期：2018年7月28日（土）～10月8日（月・祝）

開館時間：7月28日～8月31日 9:30～18:00（入場時間は17:30まで）

9月1日～10月8日 9:30～17:00（入場時間は16:30まで）

会 場：水戸芸術館現代美術ギャラリー

休 館 日：月曜日 ※ただし9月17日、9月24日（月・祝）は開館、9月18日、9月25日（火）は休館

入 場 料：一般900円、前売・団体（20名以上）700円

高校生以下・70歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料

※学生証、年齢のわかる身分証明書が必要です

※一年間有効フリーパス →「年間パス」2,000円

学生とシニアのための特別割引デー「First Friday」

→ 学生証をお持ちの方と65歳～69歳の方は、毎月第一金曜日（8月3日、9月7日、10月5日）100円

主 催：公益財団法人水戸市芸術振興財団

助 成：公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団

協 賛：株式会社東京システック、株式会社資生堂

協 力：アサヒグループホールディングス株式会社

企 画：井関悠（水戸芸術館現代美術センター学芸員）

「地上に存在することは、それ自体、祝福であるのか」をテーマに制作する現代美術家・内藤礼は、光、空気、風、水、重力といった無尽蔵な自然と、それらがもたらす色彩や音を受けとる私たち地上の生を、ひそやかな、それでいて確かな希望を放つかたちに昇華させた空間作品で、国内外より高い評価を得ています。また、内藤はこれまで、きんざ《このことを》(直島、2001年)、《母型》(豊島美術館、2010年)といった自然や建築空間と呼応するパーマネント作品を手がけ、またフランクフルトのカルメル会修道院(1997年)や東京都庭園美術館(2014年)といった歴史的な場所で展示を行ってきました。

国内において2014年以來の個展、かつ過去最大規模となる本展では、光を自身の作品における根源のひとつとしてきた内藤が、はじめて自然光のみによる、光と生命と芸術がけっして分別されえない「地上の生の光景」を見つめる空間を生み出します。

内藤はあるとき、「地上の生の内にいる者(私)が、生の外に出て、他者の眼差しを持ち、生の内を眼差す無意識の働き」に気づき、「私たちは遠くから眼差され、慈悲を受けとっているのではないか」と感じるようになったといいます。本展は、一日を通して移り変わる豊かな自然光のもと、地上に生きる私たちと死者、生まれ来る者、動植物、精霊との交歓の場として、また永続する自然の動きと私たちとを貫く連続性を可感化する空間として立ち現れることでしょう。

【内藤礼 略歴】

内藤礼(ないとう・れい) 現代美術家

1961年広島県生まれ、東京在住。1985年武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科卒業。

1991年、佐賀町エキジビット・スペースで発表した「地上にひとつの場所を」で注目を集め、1997年には第47回ベネチア・ビエンナーレ国際美術展の日本館にて同作品を展示。主な個展に1995年「みごとに晴れて訪れるを待て」(国立国際美術館)、1997年「Being Called」(カルメル会修道院、フランクフルト)、2009年「すべて動物は、世界の内にちょうど水の中に水があるように存在している」(神奈川県立近代美術館 鎌倉)、2014年「信の感情」(東京都庭園美術館)、2017年「信の感情」(パリ日本文化会館)、「Two Lives」(テルアビブ美術館)がある。

パーマネント作品に、直島・家プロジェクト・きんざ《このことを》(直島、2001年)、《母型》(豊島美術館、2010年)。

主な受賞に、日本現代藝術奨励賞(インスタレーション分野、1995年)、第一回アサヒビール芸術賞(2003年)。

【本展のポイント】

- ・本展タイトルの「明るい地上には あなたの姿が見える」をもとに、内藤が当館ギャラリーの空間と向き合います。新作を中心とした本展は、ギャラリー全8室が絵画や彫刻といったさまざまなメディアで構成され、ひとつの作品として立ち上がります。鑑賞者は全室を巡ることで新たな内藤の作品世界と出会うことでしょう。
- ・内藤は、日中の太陽の光が自室に注ぎ込む間のみ制作しています。本展では、そのような内藤が制作する光の環境に近い条件での作品鑑賞となります。とりわけ、絵画作品《color beginning》においては、人工照明では見ることのできない、繊細で神秘的な色彩が立ち現れ、移りかわる光景を目にすることでしょう。
- ・本展は、作家の展覧会主旨により、自然光のみの展示となります。そのため、9月1日より開館時間が通常の18時から17時閉場に変更となります(入場は16時半まで)。

【関連プログラム】

■ キュレータートーク

本展企画担当学芸員が展覧会について話します。

日 時：8月25日(土)、9月15日(土) 各日14:00～15:00

会 場：現代美術ギャラリー

料 金：無料(展覧会入場料に含まれます)

※参加ご希望の方はギャラリー入口にお集まりください。

【展覧会関連 教育プログラム】

■ ウィークエンド・ギャラリートーク

市民ボランティア CAC ギャラリートーカーとともに展覧会を鑑賞します。

日 時：8月18日(土)～10月7日(日) 毎週土・日曜日 各日14:30～(約40分)

※ただし8月25日(土)、9月15日(土)、9月16日(日)は除く。料金は展覧会入場料に含まれます。

■ 視覚に障害がある人との鑑賞ツアー「セッション！」

全盲の白鳥建二さんをナビゲーターに、見える人と見えない人が一緒に展覧会を鑑賞するツアーです。

日 時：9月16日(日) 14:00～16:00

対 象：一般

定 員：5名(要電話申込・先着順)

参加費：1,000円(展覧会入場料を含む)

申込み：水戸芸術館現代美術センター Tel.029-227-8120

※視覚に障害のある方はお申込みの際にお知らせください。

■ プレスクールプログラム

水戸市内の幼稚園、保育園の年長クラスを対象にした鑑賞ツアーと造形ワークショップのプログラムを行います。鑑賞マナーと美術の楽しみを伝えます。

日 程：9月19日(水)～21日(金)、26日(水)、27日(木)

対 象：水戸市内の幼稚園、保育園、託児施設等の年長クラス

*申込方法等詳細はお問合せください。

*当日はギャラリーが園児たちで混雑する場合がございます。予めご了承ください。

【同時開催】

■ クリテリオム94 北林加奈子

陶に軟質な素材を掛け合わせた彫刻シリーズ「肌」(2017年)で、有機的な存在感と手で触れるような皮膚感覚を呼び起こした北林加奈子(1990年生まれ)を紹介します。

会 期：7月28日(土)～10月8日(月・祝)

会 場：水戸芸術館現代美術ギャラリー第9室

主 催：公益財団法人水戸市芸術振興財団

企 画：竹久侑(水戸芸術館現代美術センター主任学芸員)

※クリテリオムは、ラテン語で「基準」を意味し、若手作家の新作を中心に紹介する企画展です。

※料金は展覧会入場料に含まれます。



《肌-1》2017
撮影：荻原崇太郎

■ 夏休みのアート体験！「こども・こらぼ・らぼ 2018」

アーティストや音楽家がワークショップを行います。今年は水戸芸術館以外の市内各所でも実施します。夏休みの思い出づくりに、お友だちやご家族でぜひご参加ください。

日 時：7月29日(日)、8月1日(水)、2日(木)、8日(水)、9日(木)、11日(土)、12日(日)

会 場：水戸芸術館現代美術ギャラリー内ワークショップ室ほか

対象・参加費：プログラムによって異なります

応募受付期間：7月1日(日)～5日(木)(応募者多数の場合は抽選)

※申込方法、参加費、プログラム等詳細はチラシ・ホームページ等をご覧ください。(6月下旬公開予定)



「こども・こらぼ・らぼ 2016」ワークショップの様子

■ 株式会社アダストリア×現代美術センター みんなでつくろう！「大きな大きなまるイロワークショップ」

洋服の生地を利用して、みんなでひとつの直径4mの大きなマットを作ります。不要になった衣料品も回収します。

日 時：9月15日(土)、16日(日) 10:00～17:00(毎時00分から開催)

会 場：水戸芸術館回廊2階

※雨天時：水戸芸術館現代美術ギャラリーワークショップ室

講 師：井上唯(テキスタイルアーティスト)

対 象：どなたでも

※小さいお子様からシニアの方、障害のあるなしにかかわらずどなたでも参加できます

定 員：各回10名(先着順・要予約)

参加費：無料

※ファッションブランドを展開している㈱アダストリアとの共催事業です。

※申し込み方法、プログラム等詳細はチラシまたはホームページをご覧ください。(6月下旬公開予定)



photo_427FOTO

■ 日比野克彦「HIBINO CUP」

アートとスポーツが一緒に楽しめる恒例のワークショップ。午前はチームごとに段ボールなどでゴールとボール、ユニフォームをつくり、午後にオリジナルのミニサッカーをして競い合います。親子やご友人同士でお楽しみいただけます。

日 時：10月8日(月・祝) 10:00～17:00

※雨天の場合はプログラムを変更して開催

会 場：水戸芸術館広場

対 象：小学生以上

定 員：16チーム(先着順)

参加費：個人500円、グループ(5～7名まで)2,000円

※個人参加の方はこちらでチームを編成します。

※8名以上で参加ご希望の場合は、一人あたり200円を追加させていただきます。

申込方法：「HIBINO CUP」とタイトルをつけ、①チーム名、②プレイヤー人数、③代表者の電話番号を、atmcac@arttowermito.or.jpへEメールでお送りください。
※受付開始 9月1日(土)

主 催：HIBINO CUP実行委員会、公益財団法人水戸市芸術振興財団
特別協力：水戸21の会

協 力：アサヒグループホールディングス株式会社、
公益社団法人水戸青年会議所、水戸商工会議所青年部、
レンゴー株式会社



「HIBINO CUP」の様子

【図 版】 展覧会広報用にデータを貸し出しますので、ご要望の方は鳥居までお問合せください。

1



2



3



4



1. 無題（母型） 2008年 三溪園 横笛庵、神奈川 [横浜トリエンナーレ2008] 撮影：畠山直哉
2. 無題 2009年（2008年ー） 神奈川県立近代美術館 鎌倉、神奈川 撮影：畠山直哉
3. タマ／アニマ（わたしに息を吹きかけてください） 2005年 アサヒビール大山崎山荘美術館、京都 撮影：森川昇
4. 母型 2010年 豊島美術館、豊島、香川 撮影：森川昇

プレス向け内覧会のお知らせ

2018年7月27日(金) 15:00～16:00 受付開始 14:30

場所：水戸芸術館エントランスホール内応接室+展覧会会場

出席者：内藤礼(現代美術家)、井関悠(水戸芸術館現代美術センター学芸員)

【お問合せ】

水戸芸術館現代美術センター

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8 Tel.029-227-8120/Fax.029-227-8130 <http://arttowermito.or.jp/>

展覧会について：井関悠

教育プログラムについて：森山純子、佐藤麻衣子(教育プログラムコーディネーター)

広報・写真貸出について：鳥居加織(広報) e-mail:cacpr@arttowermito.or.jp

*詳細は公式ツイッター http://twitter.com/MITOGEL_Gallery でも配信いたします。

【記事掲載についてお願い】

- 1) 掲載にあたっては、正式展覧会名称と会期の表記をおこなってください。
- 2) 写真を掲載する場合は、写真に添付してあるキャプション・クレジット等を正確に表記してください。
- 3) 誌面掲載する電話番号は、水戸芸術館代表番号029-227-8111でお願いいたします。
- 4) 掲載記事とVTRは、資料として保管いたしますので水戸芸術館現代美術センター鳥居までご送付ください。
- 5) 取材及び収録等の取材は、必ず事前にお問い合わせください。都合により取材に応じることのできない場合がございます。

【交通のご案内】

[JR] 上野駅(品川、東京発もあり)から常磐線特急で約65分～85分、水戸駅下車。駅北口バスターミナル4～7番のりばから「泉町一丁目」下車。降車後バスの進行方向に進み、すぐの交差点で大通り(国道50号)を渡り、横断歩道と平行する脇道をそのままお進みください。徒歩2分。

◎料金：特急片道3,820円／普通各停片道2,270円(2018年5月現在)

※ご予約・時刻表など詳しくはこちらをご参照ください。JR東日本旅客鉄道 Tel.029-221-2836

<http://www.jreast.co.jp/>

[高速バス] 東京駅八重洲南口バスターミナルのりばから高速バス「みと号」(赤塚又は茨大ルート)で約100分、「泉町一丁目」下車、徒歩2分。切符は東京駅八重洲南口バス券売機、水戸駅北口バスチケット売場でお求めください。

◎料金：東京駅～水戸駅片道切符2,080円。ツインチケット(2枚綴り回数乗車券3,900円)。(2018年5月現在)

※詳しくはこちらをご参照ください。茨城交通 Tel.029-251-2331 <http://www.ibako.co.jp/>

[お車] 常磐自動車道水戸ICから国道50号に下りて市街地方面にお進みください。約20分、国道349号との交差点「南町3丁目」で左折(左手にみずほ銀行がございます。),「2つ目の信号」でまた左折をしてください。そこから信号ひとつ過ぎたところで水戸芸術館地下の市営五軒町駐車場のマークが見えてまいります。

◎駐車場料金：30分まで無料、1時間まで200円、以後30分毎100円／営業時間：7:00～23:00

※高速料金・ルートなど詳しくはこちらをご参照ください。

東日本高速道路「ドラぷら」 Tel.0570-024-024 <http://www.driveplaza.com/>